

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 共英製鋼株式会社

コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森田 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長

(氏名) 北田 正宏

TEL 06-6346-5221

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	63,742	11.4	616	120.7	969	193.2	446	—
23年3月期第2四半期	57,203	△1.5	279	△96.7	330	△96.4	19	△99.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 18百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △805百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	10.25	—
23年3月期第2四半期	0.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	151,515	—	119,291	—	—	78.1
23年3月期	146,453	—	119,973	—	—	81.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 118,395百万円 23年3月期 119,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	131,000	12.1	4,000	—	4,500	—	2,500	—	57.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	44,898,730 株	23年3月期	44,898,730 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,394,196 株	23年3月期	1,394,196 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	43,504,534 株	23年3月期2Q	43,639,843 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災による広範な生産阻害と消費マインドの後退、円高の進行や欧州の信用不安等により、先行き不透明な状況が続きました。当社グループの主要需要先である建設分野については、建設需要の減退に加え、建設工事の見合わせや遅延などの影響が続き、製品需要は低調でした。

当社グループは需要に見合った生産・販売を徹底し、適正な製品価格の実現に努めましたが、国内鋼材需要の回復が見られない中、鉄スクラップ価格が弱含みで推移したことから、製品の先安感を払拭できず、製品価格の引き上げは進みませんでした。

これらの結果、当社グループの業績は当初計画を下回りましたが、前年同期対比では増収・増益となりました。連結売上高は前年同期対比6,539百万円（11.4%）増収の63,742百万円、連結営業利益は前年同期対比337百万円

（120.7%）増益の616百万円、連結経常利益は同638百万円（193.2%）増益の969百万円、四半期純利益は同427百万円（前年同期は19百万円）増益の446百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比約2万7千トン増の73万3千トンとなりました。販売価格は前年同期に比ベトン当たり3.5千円上昇しましたが、鉄スクラップ価格も前年同期に比ベトン当たり3千円上昇し、製品と鉄スクラップの売買価格差は前年同期に比ベトン当たり0.5千円の拡大となりました。第2四半期連結会計期間（7月～9月）においては、例年よりも大規模な設備更新に伴う減産によって、第1四半期連結会計期間（4月～6月）対比で出荷量が減少したこと等により、利益を計上することができませんでした。

これらの結果、前年同期対比では、売上高は6,678百万円（12.4%）増収の60,611百万円、営業利益は411百万円増益（前年同期は109百万円の損失）の302百万円となりました。

② 環境リサイクル事業

当事業部門については、産業廃棄物発生量の減少に加え、業者間の競争激化により処理単価に下落傾向が見られる中、付加価値の高い廃棄物処理による顧客の確保、新規顧客の開拓による利益の確保に努めました。しかし、管理型最終処分場への産業廃棄物受入れ量の減少もあり、売上高は前年同期対比156百万円（5.0%）減収の2,958百万円、営業利益は同200百万円（25.4%）減益の586百万円となりました。

③ その他の事業

当事業部門については、子会社を通じて土木資材の販売及び保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比17百万円（11.2%）増収の173百万円、営業利益は9百万円（45.8%）増益の30百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4,139百万円（5.9%）増加し、74,703百万円となりました。これは、現金及び預金が3,760百万円、受取手形及び売掛金が1,200百万円増加したこと等によりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて923百万円（1.2%）増加し、76,811百万円となりました。これは、有形固定資産が740百万円増加したこと等によりです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5,062百万円（3.5%）増加し、151,515百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,201百万円（6.1%）増加し、20,971百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,326百万円減少し、その他の流動負債が2,324百万円増加したこと等によりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4,544百万円（67.7%）増加し、11,253百万円となりました。これは、長期借入金4,755百万円増加したこと等によりです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,745百万円（21.7%）増加し、32,224百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて683百万円（0.6%）減少し、119,291百万円となりました。これは、四半期純利益446百万円、剰余金の配当653百万円、その他有価証券評価差額金の減少340百万円等によりです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.3%から、78.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて7,336百万円増加し、23,350百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（イ）営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,572百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益699百万円、減価償却費2,289百万円、売上債権の増加額1,200百万円、仕入債務の減少額1,326百万円、法人税等の還付額1,633百万円等です。

（ロ）投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、969百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、定期預金の預入による支出514百万円と定期預金の払戻による収入1,180百万円、有価証券の取得による支出500百万円と有価証券の売却及び償還による収入2,200百万円、有形固定資産の取得による支出808百万円等です。

（ハ）財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,056百万円の収入となりました。収支の主な内訳は、長期借入れによる収入5,000百万円、配当金の支払額652百万円等です。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当年度下期において、製品価格および鉄スクラップ価格は年度当初の想定（以下、当初想定と言います）を下回る水準で推移するものと思われませんが、その価格差は当初想定と同水準を維持できる見込みです。一方、国内の鋼材需要は回復に向かいつつあり、下期の販売数量は当初想定を上回る見込みです。

その結果売上高は、製品価格の下落により平成23年4月28日に公表しました通期業績予想を下方に修正し、利益は、上期の業績予想比減益に対し、下期の販売数量増等による増益が見込めることから通期業績予想を据え置く判断をいたしました。

当社グループの通期の連結業績は、売上高131,000百万円、営業利益4,000百万円、経常利益4,500百万円、当期純利益2,500百万円となる見通しです。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,459	15,219
受取手形及び売掛金	27,272	28,472
有価証券	8,500	9,500
商品及び製品	11,020	11,138
原材料及び貯蔵品	8,418	8,032
その他	3,946	2,390
貸倒引当金	△52	△48
流動資産合計	70,564	74,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,761	14,499
機械装置及び運搬具（純額）	18,890	18,956
土地	27,053	27,060
その他（純額）	823	1,754
有形固定資産合計	61,528	62,268
無形固定資産	1,332	1,268
投資その他の資産		
投資有価証券	10,254	9,679
その他	2,866	3,680
貸倒引当金	△91	△85
投資その他の資産合計	13,029	13,275
固定資産合計	75,889	76,811
資産合計	146,453	151,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,629	12,302
1年内返済予定の長期借入金	471	467
未払法人税等	158	294
賞与引当金	621	691
役員賞与引当金	10	11
その他	4,881	7,205
流動負債合計	19,770	20,971
固定負債		
長期借入金	1,176	5,932
繰延税金負債	604	440
再評価に係る繰延税金負債	3,987	3,958
退職給付引当金	279	267
役員退職慰労引当金	15	13
その他	648	645
固定負債合計	6,710	11,253
負債合計	26,480	32,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	75,322	75,116
自己株式	△1,635	△1,635
株主資本合計	113,696	113,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	982	642
繰延ヘッジ損益	—	△145
土地再評価差額金	4,763	4,792
為替換算調整勘定	△376	△384
その他の包括利益累計額合計	5,368	4,905
少数株主持分	909	896
純資産合計	119,973	119,291
負債純資産合計	146,453	151,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	57,203	63,742
売上原価	52,712	58,944
売上総利益	4,491	4,799
販売費及び一般管理費	4,212	4,183
営業利益	279	616
営業外収益		
受取利息	25	18
受取配当金	89	79
持分法による投資利益	—	238
その他	176	143
営業外収益合計	290	478
営業外費用		
支払利息	42	55
売上割引	23	25
コミットメントフィー	8	4
持分法による投資損失	124	—
その他	42	41
営業外費用合計	239	125
経常利益	330	969
特別利益		
固定資産除売却益	8	4
貸倒引当金戻入額	0	—
保険差益	47	—
その他	7	—
特別利益合計	62	4
特別損失		
固定資産除売却損	165	198
たな卸資産廃棄損	—	67
その他	32	8
特別損失合計	197	273
税金等調整前四半期純利益	195	699
法人税等	138	218
少数株主損益調整前四半期純利益	57	481
少数株主利益	38	35
四半期純利益	19	446

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57	481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△824	△340
繰延ヘッジ損益	—	△145
土地再評価差額金	—	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△8
その他の包括利益合計	△862	△463
四半期包括利益	△805	18
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△843	△17
少数株主に係る四半期包括利益	38	35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	195	699
減価償却費	2,448	2,289
引当金の増減額 (△は減少)	△30	46
持分法による投資損益 (△は益)	124	△238
投資有価証券売却償還損益 (△は益)	15	—
固定資産除売却損益 (△は益)	158	194
受取利息及び受取配当金	△114	△97
支払利息	42	55
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,059	△1,200
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,060	241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△509	△1,326
その他	497	209
小計	△293	872
利息及び配当金の受取額	136	98
利息の支払額	△42	△31
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△224	1,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	△424	2,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△452	△514
定期預金の払戻による収入	3,180	1,180
有価証券の取得による支出	△675	△500
有価証券の売却及び償還による収入	8,206	2,200
投資有価証券の取得による支出	△65	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	64	—
預け金の預入による支出	△900	△100
預け金の払戻による収入	500	100
貸付けによる支出	△8	△59
貸付金の回収による収入	34	28
有形固定資産の取得による支出	△1,412	△808
有形固定資産の売却による収入	78	23
無形固定資産の取得による支出	△99	△24
その他	△325	△557
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,126	969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	△243	△240
割賦債務の返済による支出	△3	△3
配当金の支払額	△1,100	△652
少数株主への配当金の支払額	△41	△49
自己株式の取得による支出	△662	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,048	4,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,645	7,336
現金及び現金同等物の期首残高	14,292	16,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,936	23,350

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,934	3,114	156	57,203	—	57,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	821	—	841	△841	—
計	53,954	3,934	156	58,044	△841	57,203
セグメント利益又は損失(△)	△109	785	20	697	△418	279

(注) 1 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△418百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,611	2,958	173	63,742	—	63,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98	741	—	839	△839	—
計	60,710	3,699	173	64,582	△839	63,742
セグメント利益	302	586	30	918	△302	616

(注) 1 「セグメント利益」の調整額△302百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。